

しみん基金・KOBÉ NEWS

第 23 号

2010 年 12 月発行



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203(サンピア2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

「あじさい基金」の設立の経緯とその思い

神戸市職員有志で「しみん基金・こうべを支える会」(あじさい基金)を設立してから7年が経過した。きっかけは、当時行われていた「NPO体験研修」という職員研修である。研修参加者が希望するNPOの活動に1-2日参加し、課題を議論したうえで、最後には、NPOと神戸市の協働型政策や事業プラン・提言を発表する、というものであった。

2002年にこの研修に参加した私は、現場体験するNPOにしみん基金・こうべ理事長の黒田さんが活動されている「阪神高齢者・障害者支援ネットワーク」を選んだ。黒田さんの訪問に同行するなどする中で、震災後、多くの被災者に寄り添いながら、その生活を支え続けている姿を、実際に知ることができた。また、市民活動を資金面で支える体制を考えて欲しいと黒田理事長から提案を受け、一緒に参加したメンバーとこのシステムを考えて発表することにした。こうして考えついたのが、「しみん基金・こうべを支える会」(あじさい基金)である。

現場研修後に行われたNPO体験研修発表会では、それぞれの参加者がいろんな提案を発表したが、私は単に「こんな施策をしてみたらどうか」ということではなく、「実際に来年度にはこの提案を実現する」と、参加していた黒田さんをはじめNPOのメンバーや職員に宣言した。やろうと思ったら自分がまず動く。これがNGO・NPOの活動の基本ではないのか。「こうだったらいいなあ」と他人に任せるのではなく、自分で動くことが一番である。幸い、私の提案は役所の予算を必要とするものではなく、自分がやる気になればできるものであった。賛同してくれる職員に声を掛け、提案から1年半後の2003年8月、「しみん基金・こうべを支える会」は設立された。

お金を集めるシステムは、「しみん基金・こうべを支える会」が1口 200 円の会費を給与から引き去りで集め、その会費を「しみん基金・こうべ」に寄付する、というものである。会費は気軽に参加できるようにと考え、コーヒー一杯分より安い額に設定した。このようにして、知らず知らずのうちに実際に市の職員が資金面からNGO・NPO活動を支援できるとともに、その活動に関心を持ってもらえるのでは、と考えた。

設立趣旨書では、「どのような社会を作り上げていくのかを決めるのは市民であり、それを担うのも市民であること」、「公共領域の活動は行政の専属であるという捉え方はすでに時代遅れとなりつつあり、市民活動の活性化こそ、『協働と参画』実現の基本である」、「NGO・NPOの活動なしに市民生活の向上は考えられない」として、その活動を支えるためには、自主財源や公的援助だけでなく一人ひとりの<思い>から出発した資金も極めて重要であるとうたった。

まだまだあじさい基金への参加者は十分ではないが、設立のときの<思い>を再度思い出して、参加者を増やしていくことと、更に新たな展開のためのアイデアを考えていきたい。

菊本 郁 (しみん基金・こうべを支える会)

主な目次

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| ◆ 平成 22 年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告 --- 2 | ◆ こうべあいウォーク 2011 ご案内 ----- 4 |
| ◆ 平成 22 年度助成先団体一覧 ----- 2~3 | ◆ しみん基金 KOBÉ 活動報告 ----- 5 |
| ◆ 10 周年記念新野幸次郎氏講演会ご案内 ----- 4 | ◆ 15 年目のひとり言 ----- 6 |



平成22年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告



平成22年10月26日(火)13時～17時に、神戸市生涯学習センター(コムスタ・こうべ)2F セミナー室にて、平成22年度しみん基金・こうべ助成事業の公開審査会を行い、別表のとおり助成先を決定いたしました。この事業の実施にあたりましては、多くの方々の貴重なご寄付とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

今年度の公開審査会は、書類審査で先行された18団体の方々から、各々の助成を受けたい事業の背景や目的、その内容・スケジュール、それによってめざすべき社会的成果についてプレゼンテーションを行って頂き、審査員との活発な質疑応答がありました。

すべての発表が終わり、審査員による公開投票を行い、8団体が助成先として選考されました。その後、同日の当基金理事会にて、公開審査会の結果を受けて別表のとおり各団体の事業に合計3,046,000円を助成することが承認されました。

なお、今年度の選考に当たっては、「次代の担い手育成」の観点を重視致しました。また、同日の当基金理事会にて、恒例の「草地奨励賞」について審議いたしましたが、今年度は該当団体なし、ということになりました。

◆ 公開審査会までのプロセス

今年度の助成事業は7月中旬に応募要項を公表し、7月21日～8月31日の期間に申請受付を行いました。応募期間中に事前個別相談会(予約制)を実施してのべ27団体の皆さんにご利用頂きました。最終的に応募総数は、70件



公開審査会の様子

(昨年度は72件)でした。

その後、9月16日の当基金理事会にて書類審査を行い、18団体の方々に公開審査会でプレゼンテーションを行っていただくことになりました。

そして、9月下旬から10月中旬にかけて、当基金の理事が手分けして各団体の活動場所を訪ね、ヒアリング調査を実施いたしました。各審査員へは、申請書類とヒアリング調査結果報告を事前にお読み頂いた上で、10月30日の公開審査会に臨んで頂きました。

◆ 助成決定団体・事業

区分	番号	団体名	事業名	所在地
		事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)		助成金額
一般 枠	1	(特活)兵庫盲ろう者友の会	盲ろう児教育研修事業	神戸市中央区
		盲ろう児への専門的な教育機関が兵庫県内にはなく、少しでも多くの教育関係者や一般市民の方々に盲ろうの実態を知っていただき、盲ろう児に対する教育の専門性の向上を図るための事業。		¥315,000
	2	自立援助ホーム 園田の家	自立援助ホーム「園田の家」の運営	尼崎市
		現行の福祉行政では対応しきれていない、18歳以上の不登校・ひきこもり・虐待等による心身のケアを必要としている青少年に対して、癒しと自立に向けての準備をする場を提供する事業。		¥432,000
	3	NGO ベトナム in KOBÉ	在日ベトナム人高齢者の充実した生活づくり事業	神戸市長田区
		言語や生活の面で不安やストレスを抱える在日ベトナム人高齢者の地域社会からの孤立化を解消するために、外出して家族以外の人達とベトナム語で語り合える機会を提供する事業。		¥500,000
	4	神戸三田外国人サポートの会	外国につながる児童生徒と保護者への支援事業	神戸市北区
		企業誘致による外国人の就労や国際結婚の影響で増えてきている三田市や篠山市、丹波市などの外国籍生徒とその保護者に対する進路や将来設計に関する相談等のサポートをする事業。		¥338,000

区分	番号	団体名	事業名	所在地
一般 枠	5	(特活)アズイット	人間関係や就労に困難を抱えた障害者の理解と就労支援	宝塚市
		人間関係や就労に困難を抱える成人の発達障害・精神障害者に関する現状を理解してもらい、改善するための支援の在り方を考えるシンポジウムを開催する啓発事業。		¥280,000
	6	(特活)障害者自立センター	特殊車椅子導入と「車椅子海岸定期散歩会」/新「兵庫県全鉄道・海水浴バリアフリー情報 HP 及び冊子設置」	加古川市
		高齢者や障害者が潤いを持って住み続けられる地域にする為に、兵庫県内の駅舎と海水浴場のバリアフリー情報を提供する事業、及び車椅子利用者との海岸散歩会を実施する事業。		¥337,000
	7	神戸大学学生震災救援隊	自然災害被災地での足湯ボランティア活動の実施と継承・普及	神戸市灘区
		能登半島地震被災地と兵庫県佐用町水害被災地で、学生ボランティアが被災された人に足湯につかりながら一対一で向かい合い会話の中から出てくる「つぶやき」を拾いあげて不安解消策や要望につなげる活動の実施と、新しいボランティアスタッフを育成する事業。		¥364,000
	8	兵庫県震災復興研究センター	『大震災 15 年と復興の備え』による啓発・情報発信事業	神戸市中央区
		頻発する自然災害による被災者の生活・住宅再建のための災害復興制度の確立を目指して、事前の予防策や直後の緊急対応など平時から「復興の備え」を啓発・情報発信する事業。		¥480,000

◆当日ご出席頂いた審査員の皆さん(順不同・敬称略)

- 山口 一史 = 審査員長
((特活)ひょうご・まち・くらし研究所)
- 石東 直子 (石東・都市環境研究室)
- 松村 敏明 ((社福)えんぴつの家)
- 藤井 英映 (兵庫県観光・国際局観光振興課)
- 相川 康子 ((特活)NPO 政策研究所)
- 河口 紅 ((特活)さんぴいす)
- 薮本 郁 (あじさい基金-しみん基金こうべを支える会)
- 津久井 進 (弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所)
- 二木 一夫 (毎日新聞神戸支局)
- 中島 淳 (神戸芝居カーニバル実行委員会)



助成先団体の皆さん



～ 1・17 メモリアル・コンサート ～

竹下景子さん “詩の朗読と音楽の夕べ” ご案内



大震災から16回目の「1・17」が巡ってきました。この日は特別な日です。震災から学んだ安心、安全、平和の大切さ、人の絆、共に悲しむ心。あの時、感じたこと、学んだことに想いを致し、震災に限らない私たちの実際の体験から、どうしても伝えたいメッセージを「詩」に託して寄せて頂きました。今年も竹下景子さんが詩を朗読され、林昌彦さんが即興でピアノ演奏されます。

今回は、復興支援コンサート実行委員会主催事業として下記のとおり開催します。当基金は、チケット販売等で開催に協力しています。

【開催概要】

- 日時: 2011年1月17日(月) 開場 18:30/開演 19:00
- 会場: 灘区民ホール5F TEL:078-802-8555
(神戸市灘区岸地通 1-1-1)

- アクセス: JR 六甲道駅より西へ徒歩 15 分、
阪急王子公園駅より東へ徒歩 15 分、山手幹線沿い
- ※当日は JR 六甲道駅-灘区民ホール間のシャトルバスを運行予定(要予約:灘区民ホール宛にご連絡ください。)
- 内容:竹下景子さん詩の朗読 with 林昌彦さんピアノ演奏
ギター演奏:鈴木一郎さん
- チケット:前売 ¥2,000、当日 ¥2,500 全席自由席
- ※チケットのお申込みは しみん基金・K O B E でも承っておりますので、参会ご希望の場合は当基金事務局までご連絡をよろしく申し上げます。TEL:078-230-9774

しみん基金KOBÉ設立10周年記念講演会

これからの市民社会に求められることは？～寄付の社会的意義について考え直す～

新野幸次郎氏講演会

(財)神戸都市問題研究所・理事長／元神戸大学総長／当基金顧問

2010年1月に、当基金は設立10周年を迎えました。昨年度、当基金の内部に、これまでの10年をふりかえり、これからの10年を見据えたビジョンをつくるために、「検証ビジョン検討委員会」を設け議論を積み重ねてきました。その報告も兼ねまして、多くのさまざまな立場の方々から求められる市民社会像を共有し、その中でしみん基金KOBÉの果たすべき役割を考えるために、この講演会を当基金主催事業として企画いたしました。

阪神淡路大震災から16年の時が流れました。震災復興のプロセスをきっかけにたくさんの市民によるボランティアな公益的活動が生まれてきました。しかしながら、そのような活動を市民自らが自発的に知恵とチカラとお金を出し合って支え合うような市民社会になったと本当に言えるでしょうか？

2009年、政権交代が実現し「新しい公共」が唱えられ、寄付についてもその基盤づくりや税制見直し論議が始まっています。これを機会に、改めて寄付の社会的意義について考え直すことを通じて、これからの市民社会に求められることについてご提案を頂きます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【開催概要】

- 日時：2011年1月29日(土)14:00～16:00
- 場所：こうべ市民福祉交流センター5F
- 定員：70名(申込先着順)



- アクセス：JR三ノ宮駅、阪急・阪神三宮駅から徒歩15分
市バス⑦系統「市民福祉交流センター前」正面
ポートライナー「貿易センター」から徒歩5分
- プログラム：
 - ・しみん基金・こうべのこれまでと今後の展望
 - ・記念講演：新野幸次郎氏
- 参加費：1,000円
原則、事前に下記口座にお支払いをお願いします。
※郵便振替：00990-5-157334
三井住友銀行：三宮支店(普通)7965892
※口座名義はいずれも、「しみん基金・こうべ」です。
- 申込み：2011年1月26日(水)まで、しみん基金こうべ事務局までFAXまたはe-mailにてご連絡ください。
- 後援：兵庫県・神戸市(いずれも予定)



震災から16年の神戸を、あなたの足で歩いてみませんか？あなたの心のこもった「あい」を少し神戸のボランティア活動にわけて下さい。

1999年に第1回こうべあいウォークを開催し、第3回まで大勢の方にご参加いただきました。その後も毎年欠かさず1月17日直近の日曜日に有志で続け、10年目の2009年より少し規模を拡大して復活いたしました。

このイベントは、震災から16年のときが経過した長田のまちをみんなで歩きめぐることを通して、市民活動を市民自らが精神的にも資金的にも支援するという理念を次世代に継承することを目的に開催しています。スタート地点での募金は、当基金を通じてNPO・ボランティア活動へ助成されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
※申込予約は不要です。当日所定の時間にお集まり下さい。

【開催概要】

- 主催：こうべあいウォーク2011実行委員会
(特活)しみん基金KOBÉ、神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、まち・コミュニケーション)
- 協力：近畿労働金庫地域共生推進室

- 開催日：2011年1月9日(日) ※雨天決行
- 募金：¥1,000～(お気持ち次第で結構です！)
- スタート：受付9:30～10:00 随時出発
大園公園(JR鷹取駅南東徒歩5分)
- ゴール：受付12:00～13:30
みくら5(御蔵北公園北：高速長田駅南徒歩3分)

※全行程3～4kmを、配布地図を参考にゴール目指して、それぞれのペースで歩いていただきます。途中随所で案内ボランティアによる解説を聞くことができます。



しみん基金・KOBÉ 活動報告(2010年8月～2010年11月)

【イベント・講演・研究会等】

- 7月21日～8月31日 しみん基金 KOBÉ 助成事業・申請受付及び、事前個別相談会(P2参照)**
- 8月2日 ファンドレイジング研究会 @大阪
「CRMは救世主になれるか!?!」
(講師:野村尚克氏・Causebrand Lab.)
主催:(特活)日本ファンドレイジング協会 江口出席
- 8月10日 KNN 自治ゼミ・MTG @大阪 NPO プラザ
- 8月26日 KEC アドバイザー派遣事業・研究会
「障害者福祉における制度外ニーズについて」
(講師:松端克文氏・桃山学院大学教授)
- 8月27日 会計基準フォーラム @あすてつぷ KOBÉ
主催:(特活)市民活動センター神戸、当基金協力
- 9月8日 神戸市アドバイザー派遣事業・MTG
- 9月24日～10月9日 しみん基金 KOBÉ 助成事業・ヒアリング調査(P2参照)**
- 9月27日 神戸市アドバイザー派遣事業
(特活)サポートステーション灘つどいの家
第1回訪問ヒアリング:現状把握 @神戸市灘区
- 9月30日 神戸市アドバイザー派遣事業
第1回 NPO 運営ステップアップ連続講座@KEC
「助成金申請書をうまく書くコツ」 企画・講師 江口
- 10月2日 合同助成金説明会 @あすてつぷ KOBÉ
主催:(財)トヨタ財団、(特活)市民活動センター神戸
当基金参加
- 10月4日 近畿 SBN・第1回資金循環研究会 @大阪 NPO プラザ
- 10月5日 KNN 自治ゼミ @大阪 NPO プラザ
「テーマ型組織と地縁型組織の連携」
講師・野崎常務理事
- 10月6日 長崎市役所都市計画部より視察受入
- 10月26日 しみん基金 KOBÉ 助成事業・公開審査会(P2-3参照)
- 10月27日 神戸市アドバイザー派遣事業・第2回 NPO 運営ステップアップ連続講座「NPO 会計基準とは?」@KEC
- 10月30日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西日本地区版)実践編・第1回教室学習
- 11月2日 KNN 自治ゼミ @大阪 NPO プラザ
- 11月4日 しみん基金 KOBÉ 助成事業・覚書締結**
- 11月11日 神戸市アドバイザー派遣事業
(特活)サポートステーション灘つどいの家
第2回訪問ヒアリング:助成情報提供 @神戸市灘区
- 11月13日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西日本地区版)実践編・第2回教室学習
- 11月17日 KEC アドバイザー派遣事業・研究会
(特活)すまみらい訪問ヒアリング
- 11月22-23日 市民セクター全国会議 2010 @東京
「今こそ発揮!意志ある行動」
主催:(特活)日本 NPO センター 江口出席
- 11月26日 しみん基金 KOBÉ 助成事業・助成金交付
- 11月28日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西日本地区版)実践編・実習先団体((特活)マブイ六甲)ヒアリング @神戸市灘区
- 【会議(内部のみ)】
- 8月17日 平成22年度第2回理事会&審査員懇話会
書類選考・ヒアリング調査・公開審査会の進め方について協議
- 9月16日 平成22年度第3回理事会:書類審査(P2参照)
- 10月26日 平成22年度第4回理事会(P2参照)
助成先団体、草地奨励賞について審議、
講演会事業について協議



＜リサイクル寄付のお問い合わせ＆ご協力方法＞

◆古着: オレンジスリフティ

TEL 078-858-7090

〒657-0027 神戸市灘区永手町 3-1-208

オレンジスリフティ 六甲店

- ・上記ショップへ持参または宅配便にて送付してください。
- ・送付の際は、メモにて「しみん基金こうべ リサイクル寄付」とご記入の上、送料は送り主様にてご負担ください。
- ・お洗濯やクリーニングなど、一般的な処置を済ませていただいた上で、あまりに汚れているものや消えないしみのついていないものは除いてください。再販売が可能なものと考えていただければ大丈夫です。

◆家電・音楽機器・パソコン等の電子機器:

(株)こうべリサイクルセンター リサイクル寄付事業部

TEL 078-303-6201

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 1-1-14

- ・上記お問い合わせ先へお電話下さい。「リサイクル寄付」とお伝えください。
- ・お電話にて、商品がリサイクル品として再販可能かどうか確認させていただきます。
- ・再販可能と判断された場合は、上記のあて先まで宅配便にてご送付下さい。「リサイクル寄付」と明記ください。送料はご負担いただきますようお願いいたします。





15年目のひとり言 ～独り言～



このコラムに寄稿を始めてから早いもので6年目を迎える。コラムのタイトルを「〇〇年目のひとり言」と名付けてくれたのは事務局員の方だった。事務局から依頼された原稿をメールで送付したところ、コラムのタイトルは「〇〇年目のひとり言」がぴったりなので、それで良いですか？との返信メールがやって来た。その時は余り深く考えずに「それで結構です」と返信したのだが、毎回原稿を書く際に「ひとり言」の難しさに苦しめられる。

「ひとり言」とは「自己の立ち位置が現実であると自我による認識を再確認する為に誰に伝聞の結果を求めるでもない言語を呟く事」とある。つまり自分以外に訴えかけるのではなく、自分自身に問いかけるものでなくてはいけない。

幸い私の場合、市民活動が本業ではないので、この業界と活動を第三者的に見やすい立場にある。そんな中で感じることや、取り巻く人たちからどのような目で市民活動やしみん基金が見られているのか、という観点を中心にコラムを書いて来たつもりである。

「ボランティア元年」と呼ばれた15年前から、地域での市民活動も、取り巻く環境も随分と変化した。私たちの活動も成長から成熟へと進化を遂げていかなければならない。変化の無いところに進化はない。変化していくためには、支えて下さる方々の声に耳を傾けなければいけない。それが、これからのしみん基金のキーワード「絆」「繋がり」を生み、今後の活動の道しるべとなることを信じて止まない。

しみん基金・KOBÉ 専務理事 瀬戸口仁三郎

会員数とご寄付のご報告

◆正会員 個人 39名 団体 4名

◆賛助会員 個人 66名 団体 13名

(2010年11月末現在)

◆新規賛助会員一覧 (敬称略・順不同)

溝口幸子、佐々木美智代、上田耕蔵、羽田英彦、
神陵台 E いいまちづくりの会

◆寄付・募金合計金額 1,168,407 円

◆寄付者・募金一覧 (敬称略・順不同)

中島秀男、被災地 NGO 協働センター、井上由紀子、
中谷豊、高橋智子、武田政義、瀬戸口延恵、
(財)敬愛まちづくり財団、サムライアスリート(株)、
水野進太郎、愛蓮、橋長恒雄

(2010年8月～2010年11月)

これまでに助成した団体の関係者の方々から、ご寄付を頂いたり、賛助会員になって頂いたりする機会が増えてきました。当基金としまして「お互い様」と言い合える関係を大切にしたいと思っています。皆様の篤いお志に心より感謝申し上げます。

「しみん基金・KOBÉ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000 円
団体会員 年間 10,000 円

お申し込みは電話・FAX・メールなどで、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

<振込口座>

三井住友銀行 三宮支店 普通 7965892
みなと銀行 本店営業部 普通 1597921
近畿労働金庫神戸支店 普通 4161854
郵便振替 00990-5-157334
口座名義 「しみん基金・こうべ」



◆ あ と が き ◆

先日、大阪大学総長の鷺田清一さんの講演を聴く機会があった。その中で、人間はその一生で純粹に自立している時期はなく、その関係性の中で生かされているのであり、赤ちゃんの時と老いを迎える時は他者に依存せざるを得ない存在であること、それ故にいざというとき「お互い様」と言い合えるネットワークを準備しておくこと、そのことを行政だけに任せるのではなく、社会全体を見渡せて、いつでも誰でも主客両方の立場を交代できるような自立した「市民」になることが、大切であると力説されていた。とても心に残る講演でした。(元)